



# 輝け！北っ子！

## 令和3年度 夏休み・冬休み期間について ～学校休校等への対応～

5/24 付け学校だよりNo. 10 で今後の行事等の見直しについてお知らせした内容のうち、検討中として対応を保留していた「夏休み・冬休み期間」についてですが、二本松市教育委員会の指導を受けながら以下のように決定しましたのでお伝えします。新型コロナウイルスの感染状況をみていたこともあり、報告が遅くなりまして申し訳ありません。

※ただし、この決定は現時点（6/17）でのもので、今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては変更もありえることをご了解ください。

### 夏休み・冬休み期間の変更は行わない

○ 1学期終業式	7月20日(火)	○ 2学期始業式	8月23日(月)
○ 2学期終業式	12月23日(木)	○ 3学期始業式	1月11日(火)

※ 当初予定通り

#### 【主な理由】

##### ○ 学習内容の履修の見直し

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本校は4月に学校休業、また5月には学級閉鎖（一部）を余儀なくされました。その間の授業時間減には次のような対応をし、当該学年での学習内容についての履修を進めることで、学年内に学習内容を終えることができると考えています。

※ここでいう「履修」は学年で予定している学習内容を学ぶ事で、予定していた授業時間を予定通りに行うことではありません。学校は、年度末までに学年の学習内容を完全に終わることについて責任をもちます。

- ・ 学校には不測の事態を予想して、はじめから予定時数より多く授業時間を設定しておく「余剰時間」が各学年10時間以上あります。この時間を使います。
- ・ 「行事」の時間を「教科」の時間に振り替えます。行事で指導すべき内容等は、朝の時間などをつかって指導します。例) 行事「避難訓練」の時間 → 教科「算数」の時間へ 行事の進め方も見直し、児童の負担軽減を図ります。
- ・ 4校時予定を5校時にしたり、5校時予定を6校時にしたりします。年間計画の中で授業時間を増やせそうな日を見つけ授業時間を確保します。
- ・ 朝の「パワーアップタイム」や家庭学習の充実を図ります。
- ・ 会議などを見直し、放課後等、学習の定着や個別指導に当てる時間を確保します。等

また、学習進度の調整にあたっては、子どもへの負担を考え、ペースを上げすぎないようにします。さらに、学校生活の落ち着きを考慮し、「補充の時間」の新規設定等、日課表を組み直しての対応は行わず、通常の授業の中での対応を主とします。

##### ○ 夏休みの意義・子どもの「心」

夏休みには、「普段できない体験」「家族との時間」「自分の興味関心事へじっくり時間をかけた学習」「心身のリフレッシュ」等、学校の中だけでは育みきれない大きな意義もあります。なんとかこの時間をしっかりと確保したいと思います。また、子どもたちにとって「夏休み」は1年の中で何よりも楽しみにしている時間の一つでもあります。この時間が昨年に引き続き今年も削減されるとなると子どもたちの全体的な意欲の低下が懸念されます。さらには、他校が通常どおり夏休みを過ごす中、本校だけ学校を開いた場合の子ども達の意識、コロナ関係の詮索・誹謗中傷の再燃、教育効果等も考慮しました。

夏休み・冬休みの期間、学習の保障については随分と悩みました。いろいろなご意見もあることと思います。最後は「子どもにとってどうあるべきか」で判断したつもりです。ご理解いただければと思います。